

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)

【公開番号】特開 2005-54151 (P2005-54151A)

【公開日】平成 17 年 3 月 3 日 (2005.3.3)

【年通号数】公開・登録公報 2005-009

【出願番号】特願 2003-289189 (P2003-289189)

【国際特許分類】

C 0 8 J 3/12 (2006.01)

C 0 8 L 33/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 3/12 C E Y Z

C 0 8 L 33:00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 31 日 (2006.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

吸水性樹脂の粉末に水分を供給して前記粉末を互いに結着させる工程と、前記粉末の結着物から吸水性樹脂の造粒粒子を得る工程と、を含み、両工程は同時または順次に実施される、粒子状吸水性樹脂の製造方法において、前記水分は水蒸気の状態で供給することを特徴とする、粒子状吸水性樹脂の製造方法。

【請求項 2】

前記水分の供給を前記粉末の攪拌下で行う、請求項 1 に記載の粒子状吸水性樹脂の製造方法。

【請求項 3】

前記粉末の結着物は加圧下で得るようにする、請求項 1 または 2 に記載の粒子状吸水性樹脂の製造方法。

【請求項 4】

吸水性樹脂となる重合物を合成する工程と、前記重合物を乾燥する工程と、分級を必須とし前記乾燥後の乾燥物を所望の粒径にする工程とを含み、

前記粉末は前記所望の粒径にする工程により除かれた吸水性樹脂の微小粒子であり、

前記造粒粒子を前記所望の粒径にする工程以前の工程に加える、

請求項 1 から 3 までのいずれかに記載の粒子状吸水性樹脂の製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

すなわち、本発明にかかる粒子状吸水性樹脂の製造方法は、吸水性樹脂の粉末に水分を供給して前記粉末を互いに結着させる工程と、前記粉末の結着物から吸水性樹脂の造粒粒子を得る工程と、を含み、両工程は同時または順次に実施される、粒子状吸水性樹脂の製造方法において、前記水分は水蒸気の状態で供給することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

以下に、上記方法（A）および方法（B）において一体化工程を行う場合について、それぞれ具体的に説明する。